

# 一般質問発言通告書

発言順位 4 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和元年11月26日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 21 番 岡田 美喜子



質問事項 1	持続可能な自治体経営のための人材確保と育成について
具体的内容	1990年代に始まった、地方分権改革や市町村合併などにより、市町の役割はさらに重要性を増すことになり、急速に進む少子高齢化と本格的な人口減少は、国や地方自治体の財政状況に重大な影響を及ぼすことが広く認識されるようになりました。
	このような環境変化のもと、今後も持続可能な自治体経営の構築に向けて、行政改革や市町の広域連携、電子自治体の推進などの取り組みがされています。
	三島市において2020年度は、今後10年のまちづくりの指針となる「第5次三島市総合計画」策定の重要な年となります。持続可能な自治体経営のため、専門的な知識も必要になり、人材確保と人材育成は重要と考えます。
	11月6日の日本経済新聞によりますと、観光振興やIT（情報技術）などの施策に民間の手法や発想を生かすことを目的に、全国の自治体で企業の社員など民間人材を兼業や副業の職員として獲得する動きが広がっていると報じています。
	以下の点について伺う。
	1. 三島市の審議会等の状況
	2. 「第5次三島市総合計画」策定のスケジュールと取り組み
	3. 民間人材を兼業や副業の職員として雇用し、行政課題の解決や職員の意識改革に繋げてはどうか
質問事項 2	安心安全な教育環境の整備について
具体的内容	平成31年4月、文部科学省から中央教育審議会に対し「新しい時代の初等中等教育の在り方について」と題した諮問がなされました。
	主な内容は、society5.0（今後迎える高度先端技術と人間が共存する時代）に向け、基礎的読解力などの基盤的な学力の確実な定着に向けた方策、義務教育9年間を見通した児童生徒の発達の段階に応じた学級担任制と教科担任制の在り方、教育課程の在り方などを審議の柱としています。教育基本法に示された「人格の完成」という目標から、さらに「人材育成」を求められ、今後も教職員の皆様の果たす役割は大きいと感じています。
	その教育を支える、安心安全な教育環境について伺います。
	1. 学校における熱中症対策について
	(1) 今年度の熱中症発生の状況と対策、体育及び部活動の実施状況
	(2) 小中学校の全特別教室及び屋内運動場へのエアコン設置（移動式エアコンの導入）
	2. 中学校の通学区域の変更について
	(1) 通学区域の変更の理由と経緯
	(2) 学区の基本的な考えと、どのような場合に学区が変更されるのか
	3. 北中学校屋内運動場の老朽化に対する取り組みについて
	(1) 公共施設保全計画における指針と保全状況
	(2) 屋内運動場の教育設備、安全性、バリアフリー化の状況
	(3) 北校舎の日影規制に対する既存不適合建築への対策
	(4) 北中学校の屋内運動場の改築及び北校舎の在り方を検討し、対策をすべきではないか